

# みらい仙

赤間 次彦議員



仙台城長櫓復元図

## 仙台城長櫓復元事業

水道・ガス事業会計決算  
入札・契約制度

**問** 仙台城の石垣修復や長櫓復元事業の基本的考え方を伺いたい。長櫓は、真に百万市民のシンボルとなるよう、現在修復中の石垣との一体性を重視し、その北東角地に建設すべきではないか。  
**答** 文化的価値を損なわないよう、伝統的な工法で修復を行い、また、市民の心よりどころとなる

新たなシンボルの創造を目指している。櫓と石垣の一体性の重視も重要な判断要素であり、早い時期に復元位置の結論を出したい。  
**問** 実施計画の進行管理(目的評価、策定の基本方針)  
**答** 本市の基本構想、基本計画「仙台21プラン」、十一年度の実施計画のうち、実施計画の策定目的、現計画の進捗状況、新計画の基本的考え方を伺いたい。

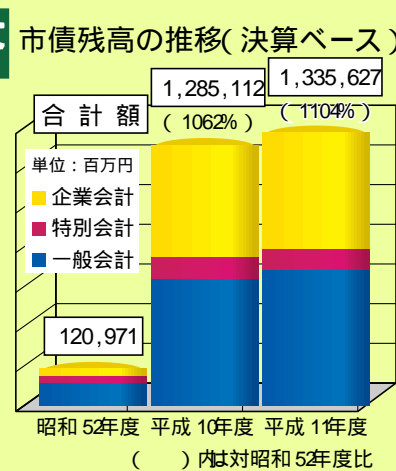
**問** 実施計画は、基本計画に掲げる政策目標の計画的推進を図るため策定しており、現計画は、主要事業について概ね順調に推移している。新計画では、自立と共生に支えられた風格ある杜の都の実現を目指し、「市民との協働」を基調に、市民の創意を生かした個性あるまちづくりを進めたい。

# 自由民主党 市民会議

大泉 鉄之助議員

## 次世代に今世紀のツケを残さぬために

**問** 本市の財政状況を一言で言えば、市税収入減少、市債残高急増、義務的経費増加である。単年度収支が六千万円の赤字となった決算結果の評価を伺う。  
**答** また、市債残高は、一般会計で六千億円台、特別会計、企業会計を加えると一兆三千億円台であり、二十年前の実に十倍を数え、限界に近づいたと考えるが、これら市債



の実態に対する所見を伺う。また、アクセス三十分構想は、今後十年間で毎年四百五十億円の投資が必要になると試算される。本市財政が最も悪化する時期の実施に不安もあるが、市当局の予測と取り組みへの決意を伺う。

後とも堅実な財政運営の必要があるものと認識している。市債については、公債費増加による財政硬直化を招くため、過度の依存は避けるべきと考える。アクセス三十分構想は、本市の都市づくりに不可欠な重要施策である。よって、財政状況が厳しい中での取り組みだが、事業の重点化等、様々な工夫を図りながら、実現に向け全力で推進を図りたい。

## 主な質疑項目

市債借り換えへの取り組み  
外郭団体への委託のあり方  
人員削減増と職員意識改革  
百年の杜・市街地活性化と基本計画・都市計画との整合性  
コンパクトシティの定義と名取合併を目指した過去の歴史の総括  
仙台オープン病院の建替え計画  
東西線の必然必要な市民理解  
都市計画道路の見直し

# 市民フォーラム

村上 一彦議員



ニッポウNICHU(東北大学未来科学技術共同研究センター)

## 地方分権の積極的推進について

**問** 国から地方へ権限移譲を行う場合、それを裏付ける税財源の移譲も必要である。住民のニーズにあった独自の行革を推進し、国の政策にも影響を与え、地方がリードする施策が必要ではないか。  
**答** 税財源の移譲を伴わない分権改革では、真の分権型社会の期待には遠いと考える。自主財源の

確保は、財政局内、仙台市課税自主権研究会で、実現の可能性等について調査研究を進めていきたい。  
**問** 確保は、財政局内、仙台市課税自主権研究会で、実現の可能性等について調査研究を進めていきたい。  
**答** 東北大学は、既に新技術の地元企業への移転・商品化の実例も生み出している。大学の知的資源の活用による地元企業との、より一層効果的な連携・支援策を検討していく。

## 松森工場について

**問** 導入予定の旧来のストーカ炉より最新の溶融炉にすべきである。入札も疑惑を受けぬよう慎重を期する対策が必要ではないか。  
**答** 焼却方式については、専門家の意見を踏まえ慎重に検討を行い結論を出した。入札については大規模かつ重要なものであることから、慎重に対応していく。

# 代表質疑

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

# 日本 日共産党

正木 満之議員



花京院再開発ビル

## 市街地再開発事業は取りやめを

**問** 借金を六千四百億円にも増やし、反省はないか。最大の要因は公共事業への異常な傾斜である。花京院一丁目のビル建設に五十億円近くも税金が投入された。一千坪の土地を道路や空き地、ビルへの通路にするため、というのはムダづかいの極みといえる。このような市街地再開発事業は取りやめるべきだ。

## 学校改築を急げ

**問** 八木山小の改築は総工費十三億六千万円のうち一般財源は九千六百万円で済んだ。花京院のビルにわすかの空間をつくるために五十億円もつかうようなやり方をやめ、市は学校改築にもっと積極的に臨む必要がある。急がれる木町通・七北田・高砂・原町・通町・上杉新・荒町・南村木町・旭丘・岩切・弘瀬小や、宮城野中の改築を一気にすすめるべきだ。  
**答** 老朽校舎の改築は、敷地の条件や改築の規模、仮設校舎の設置が必要なもの等各校により様々な状況があり、費用や財源構成に違いがある。長期的見通しの中で計画的に積極的に整備を進めていく。

# グローバル ネット仙台

柿沼 敏万議員



循環バス

## 生活密着型の循環バスの積極的な実現を

**問** 市民の日常生活のより高い利便性と、行動しやすさがいまだ地域に求められています。この際、生活に密着する循環バスの導入に積極的に取り組むべきと思いますが、今後の方針について伺いたい。  
**答** 今後の路線再編成において、他の系統や地下鉄サービスマス圏域との調整、JRとの連結、地域特性

## 開府四百年記念に国内姉妹都市サミット開催を

**問** 二十一世紀の新时代のとき、都市市民の交流のあり方を再構築するとともに、国内姉妹都市サミットの開催を提案するがご所見を伺いたい。  
**答** 開府四百年は、第二のまち開きと言ふべき記念すべき年であり、これからの姉妹都市交流についての意見交換の絶好の機会である。

公共施設の立地等も考慮し、路線設定に向けた検討を進めていく。  
**問** 限られた財源を最大に活用し、財政の健全化を図りつつ、社会資本整備を進めていくためにもPFIを来年度より導入すべきと思うが、市長の決意を伺いたい。  
**答** 庁内にPFI導入に向けた検討会を設置しており、公平性や透明性の確保、また、リスクの明確化など検討を深め、平成十三年度からの導入に向けて、具体的な検討、対象事業の選定を進めている。

# 市民党 市議団

大槻 正俊議員

策定された「仙台21プラン」等の上位計画を受けたもので、対象地域のみならず、この整備効果は、全的に波及すると考える。  
**問** また、先行取得の土地は、地域の貴重な空間なので、地域の要望を踏まえ、活用を検討していく。  
**答** 委託先決定においては、運営法人の障害者就労に取り組む意欲等を重要なポイントとした。知的障害者以外の障害者への対応は、事業主に対し障害への理解を求め、等総合的に支援していく。職種・職域の拡大は、公共職業安定所、障害者雇用促進協会、職業センターなど一層連携し事業の実効性を高めていく。



整備が進む緑豊かな山並み

## 新設の障害者就労支援センターの充実を

**問** わが会派も主張してきた仙台市障害者就労支援センターの新

## 他の主な質疑項目

地域経済優先の公共事業の展開  
仙台城石垣の活用・宣伝  
身近な運動広場の早期整備促進  
下水道の未処理・未水洗の解消  
利用しやすいバス路線の確保と  
コミュニティバス導入の拡大  
秋保地区の振興策の充実

# 常任委員会

## 総務財政委員会

外郭団体の調整等に関する要綱及び指針について  
公式代表団の長春市訪問について  
都市計画道路等の用地買収について  
サミット誘致について  
七郷小学校増改築工事に係る入札経過について

## 市民教育委員会

七郷小増改築工事について  
地元優先発注に対する市の決意  
・辞退J.Vの入札価格等  
・J.V入札辞退の時期や理由等  
・入札妨害の可能性  
・落札者決定後の辞退J.Vの行動  
・落札者決定に対する市の判断  
・入札妨害が明らかなきときの対応

## 健康福祉委員会

七月は、雪印乳業問題もあり、食品衛生で集中審査を行った。  
今回付託議案では、宮城歯科診療所の廃止を了解した。議員提案の介護保険運営委員会条例は、当局要綱による運営委員会の取り組み状況を見てから、条例化したいという意見が大勢となった。

## 公営企業委員会

平成十二年度仙台市ガス事業会計補正予算について  
交通局案内センター新設による電話での乗客案内業務の一元化について  
「鉄道の日」記念事業、「みやぎバスまつり」について  
「ガス展」開催について

## 都市整備建設委員会

七北田橋のかけかえ工事の事業概要及び友愛団地から直接七北田橋に行くルートに関する宮城県との協議について  
仙台市営住宅条例及び仙台駅東再開発住宅条例の一部を改正する条例の改正主旨及び入居者の家賃の変化について

## 環境委員会

電気式生ごみ処理機購入補助金の待機者対策及び新年度予算における対象者数について  
ごみ処理機購入者へのアフターケアの充実について  
秋保工芸の里への展示・即売場の飲食施設設置について  
林野火災演習場の調整について